

民生教育常任委員会会議録

- 1 日 時 平成29年12月19日(火)
午後0時55分～午後1時24分
- 2 場 所 議員協議会室
- 3 出席委員 委員長 佐々木哲男 副委員長 大久保主計
委員 大泉徳子 委員 大沼宗彦
委員 丹野政喜 委員 山口 實
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため 健康福祉部長 小林 喜 幸
出席をした 子ども支援課長 松野 晴 美
者の職氏名 子ども支援課長補佐 千葉 貴 俊
子ども支援課長 鈴木 智 弥
子育て支援係長
- 6 事務局職員 事務局 長 小野寺 俊
次長兼庶務係長 加藤 勤
主 査 川上 真理子
- 7 付議事件
(1) 議案第126号 指定管理者の指定について
(2) 議案第127号 指定管理者の指定について

午後0時55分 開会

○委員長（佐々木哲男） 出席委員は定足数に達しておりますので、委員会条例第14条の規定により委員会は成立いたしました。

ただいまから民生教育常任委員会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

本日の会議は、お手元に配付の委員会次第書のとおりであります。

この際、諸般の報告をいたします。

委員会条例第19条の規定により、健康福祉部長及び担当課長等の出席を求めておりますので、報告いたします。

これをもって、諸般の報告を終わります。

それでは、付託議案の審査に入ります。

初めに、議案第126号 指定管理者の指定についてを議題といたします。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。大沼宗彦委員。

○委員（大沼宗彦） 指定管理者となる団体の名称が変更となり、特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわとなつていますが、ほかに何らかの変更点はないと捉えてよいでしょうか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、こども支援課長。

○こども支援課長（松野晴美） 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわからは、今回の変更はあくまでも名称のみであり、法人体制の変更はないと聞いております。

○委員長（佐々木哲男） 大沼委員。

○委員（大沼宗彦） 名称のみの変更とのことですが、法人の責任者や構成する人たちの思いとして、融和という意味が込められているのかなと思うのですが、それについて何かお聞きしたことはありませんか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、こども支援課長。

○こども支援課長（松野晴美） 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわから聞いている事情については、もともと岩沼市を中心に活動しているひよこ会という法人があり、以前から間違われることが多かったとのこと。その法人が本市でも放課後デイサービスなどの事業を開始しているようで、そのため、

子育て応援団ひよこから子育て応援団ゆうわに名称のみを変更したいとの申し出を受けたものです。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。山口 實委員。

○委員（山口 實） 今回、指定管理者を指定するに当たって、下増田児童センターの土曜日開館について検討しなかったのか伺います。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、こども支援課長。

○こども支援課長（松野晴美） 今回の指定管理者の指定とあわせて土曜日開館の検討はしておりません。下増田地区については、増田児童センターの土曜日開館を利用させていただいておりますので、検討はいたしませんでした。

○委員長（佐々木哲男） 山口委員。

○委員（山口 實） 資料によると、下増田児童センターは登録児童数も多く、さらには時間延長の利用者も多いという現実問題があるわけです。下増田児童センターについては周辺団地の若い夫婦世帯などの利用が多いと認識していますが、女性の働く環境づくりといった面からも、土曜日の開館について検討する必要があるのではないのでしょうか。今、那智が丘児童センターでは土曜日に開館していますが、ほかはどのように検討されたのか伺います。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、こども支援課長。

○こども支援課長（松野晴美） 市内における児童センターの土曜日開館につきましては、那智が丘児童センターだけでなく、増田西児童センター、増田児童センターでも実施しておりまして、地域的にみてバランスよく開館しているものと捉えております。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。山口 實委員。

○委員（山口 實） 下増田児童センター周辺の団地では若い世代の市民が多く、また児童センターの利用者も低学年の児童が圧倒的に多いのが実態です。

さらに、これから小学校1年生、そして2年生になる子供たちも相当多いと思うのです。そのような視点から検討しなかったのか伺います。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、健康福祉部長。

○健康福祉部長（小林喜幸） 本市では若い世帯の利用を視野に入れて、共稼ぎや仕事をしている世帯への配慮として、延長利用の時間を設定しております。

土曜日の利用に関しましては、市域のバランスを考えて開館しておりますが、

今後下増田地区の地元の意向や、指定管理者の指定を受けた団体の意向などを踏まえ、時期を見て検討していきたいと考えております。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。大泉徳子委員。

○委員（大泉徳子） さきの質疑の中で、人を相手にする施設は信頼関係を重視し、非公募で指定管理者を指定しているとの答弁がありましたが、今回指定管理者を指定するに当たり、どのような高評価により指定まで至ったのか教えてください。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、こども支援課長。

○こども支援課長（松野晴美） 今回の指定に係る選定基準として、まず団体の設立から1年以上が経過していること。次に、市民の平等な利用が確保されること。特に、児童センターで実施している放課後児童クラブでは、保護者の就労などにより小学校1年生から6年生までの児童について支援が必要になっております。また、自由来館については、小学生から高校生までの児童生徒に対し、生活や遊びの場を提供することになります。子育てサロンでは、乳幼児親子の居場所づくりに取り組むとともに地域との交流を図るなど、市民の平等な利用が確保されていること。そのような基準と施設の性質から、特定の利用者が使用すると考え、利用者からの信頼、関係性の維持及び地域に密着した運営が求められることから、利用者の実態をよく理解した団体が管理することが望ましいと判断し、今回提案した団体を指定するものです。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。大久保主計委員。

○委員（大久保主計） 指定管理者の指定により、指定した団体に管理を任せることになりますが、児童センターの状況については担当課において把握しておく必要があると思います。日ごろの児童センターの運営状況、活動の様子は担当課においてどのように把握しているのでしょうか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、こども支援課長。

○こども支援課長（松野晴美） 市内の児童センターについては、月1回の館長会議を開催しておりますので、その場において随時状況を把握しています。

市直営の児童センターと指定管理の児童センターで共通の理解により運営に当たっております。

○委員長（佐々木哲男） 大久保委員。

○委員（大久保主計） 月1回市内全部の児童センターの館長が集まって、連絡会議のような打合会を実施し、情報を共有しているという理解でよろしいでしょうか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、こども支援課長。

○こども支援課長（松野晴美） 市内の児童センターの館長がそろった館長会議となっております。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。丹野政喜委員。

○委員（丹野政喜） 議案第126号は下増田児童センター、議案第127号は那智が丘児童センターについてですが、関連がありますのであわせてお聞きしたいと思います。下増田児童センター及び那智が丘児童センター、そのほかに増田児童センターについて、同じ特定非営利活動法人が指定管理者の指定を受けようとするものですが、3館とも事情が違うと思うのです。登録している児童数、広さ、職員体制など全部違うと思うのですが、例えば指定申請を行うよう通知するときに、それぞれの特色をもって申請をするように指導をしているのかどうかお聞きします。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、こども支援課長。

○こども支援課長（松野晴美） 3館の運営体制で特色のあるものとしては、那智が丘児童センターは土曜日開館、増田児童センターはファミリーサポートセンター運営事業があります。それ以外は共通で、児童センターの管理運営、放課後児童クラブの運営、子育て支援事業の実施、地域交流等をお願いしているところです。

○委員長（佐々木哲男） 丹野委員。

○委員（丹野政喜） 運営状況が良好であって、地域の信頼を得ているというのは皆同じです。地域との信頼関係が最も重視されるので、基本的にはその信頼関係を裏切らなければ、5年間の債務負担行為により継続となるのですが、基本的にここをはみ出さなければ指定管理を受けられるものになりはしないかという心配もあるわけです。常に地域の事情は変わりますし、子供たちの事情も変わりますので、市がある程度の方向性なり児童センターの運営についてお願いしたいことを持ってしかるべきだと思いますがいかがでしょうか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、健康福祉部長。

○健康福祉部長（小林喜幸） 児童センターの運営につきましては、職員と登録児童や自由来館の子供たちが、互いに信頼関係や友情関係を結んで活動できることが大きな一つの目的であります。また、地域の公民館や老人クラブ、若者から高齢者までの多世代との活動や交流などを通して、子供たちの人間性を育むことができるよう、事業者には児童センターを運営する主体としてうまく連携交流を図りながら事業を実施するようお願いしているところです。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。大沼宗彦委員。

○委員（大沼宗彦） 特定非営利活動法人による指定管理は、最初は那智が丘児童センター、その後増田、次いで下増田児童センターとふえてきています。

市としては、市西部地区の増田西児童センターやゆりが丘、相互台児童センターなどについても徐々に広げていく方針なのでしょうか。計画により進めている事業と受け止めてよろしいのでしょうか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、健康福祉部長。

○健康福祉部長（小林喜幸） 児童センターにつきましては、将来的には指定管理者の導入を進めていきたいと考えています。どこの児童センターから導入するかは未定で、まだ内部で検討している状況です。

○委員長（佐々木哲男） 大沼委員。

○委員（大沼宗彦） 特定非営利活動法人子育て応援団ゆうわではなく別の特定非営利活動法人が指定管理を行いたいとなれば、その団体の内容、信頼関係やどのような事業を進めていくのかなどについて、それぞれ市側の担当が聞き取りをしながら導入を進めていくという考えなのでしょうか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、健康福祉部長。

○健康福祉部長（小林喜幸） 指定管理の導入に当たりましては、当初から指定管理ではなく、まず指定管理者の指定を視野に入れた業務委託をした上で、実績等々踏まえて指定管理者の指定に移行していく流れとしております。今後同様の方針で進めていきたいと思っております。業務委託する団体については、市から実施してほしい事業やメニューをお知らせした上で、公募に手を挙げていただくという流れで進んでいくものと考えております。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。大久保主計委員。

○委員（大久保主計） 指定管理者を指定するに当たって、指定管理者選定委

員会にかけていると思いますが、指定管理者選定委員会はいつ開かれたのでしょうか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、こども支援課長。

○こども支援課長（松野晴美） 今回は非公募としておりますので、指定管理者選定委員会にはかけておりません。

○委員長（佐々木哲男） 大久保委員。

○委員（大久保主計） 公募の場合は指定管理者選定委員会にかけるという理解でしょうか。法人などが継続して同じ要件で指定管理者の指定を受けようとするときは、指定管理者選定委員会を通さなくてもいいという理解ですか。そのため今回は指定管理者選定委員会に付議していないということよろしいですか。

○委員長（佐々木哲男） 答弁、こども支援課長。

○こども支援課長（松野晴美） 今回については非公募としておりますので、指定管理者選定委員会にかけることなく、市長が直接選定を行うこととなっております。

○委員長（佐々木哲男） ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木哲男） ほかになしと認めます。これをもって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木哲男） 討論なしと認めます。これをもって討論を終結いたします。

これより、議案第126号 指定管理者の指定についてを採決いたします。

本案を原案のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（佐々木哲男） 起立全員であります。よって、議案第126号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、議案第127号 指定管理者の指定についてを議題といたします。

これより質疑を行います。

質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木哲男） 質疑なしと認めます。これをもって、質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木哲男） 討論なしと認めます。これをもって、討論を終結いたします。

これより、議案第127号 指定管理者の指定についてを採決いたします。

本案を原案のとおり決することに賛成の委員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○委員長（佐々木哲男） 起立全員であります。よって、議案第127号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

この際、お諮りいたします。

議案第126号及び議案第127号に対する委員会審査報告書の作成につきましては、委員長に御一任願いたいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐々木哲男） 御異議なしと認めます。よって、委員会審査報告書の作成については、委員長に一任することに決しました。

以上で、本日の付議事件は全て終了いたしました。

本日の委員会はこれにて散会いたします。

大変御苦労さまでした。

午後1時24分 散会

平成29年12月19日

民生教育常任委員会

委員長 佐々木 哲 男